

令和5年大磯町議会

9月定例会総括質疑（9月5日）

質問議員	質問事項
1 8番 鈴木 京子議員 (40分) 9:05～9:45	以下の項目について、総括を求める。 1. 新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金を活用した主な事業は何か。 その中で、今後他の財源を必要とする事業はなかったか。 2. 町長の判断で不用額が生じた事業はあるか。 3. 区長要望をはじめ、地域の要望について予算措置を含め柔軟かつ十分な対応はできたか。 4. 職員の働き方改革はどのように進んだか。
2 9番 石川 則男議員 (40分) 9:45～10:25	以下の点について、総括質疑を行う。 1. 令和4年度の行政運営において適切な運営が行われたのか。職員のやる気を引き出すような取り組みや人事配置や教育研修はなされたか。 組織の活性化は行政においても重要なテーマである。民間企業では、毎年個人の能力をより発揮できる働きたい内容や部署について書類提出し、上司と面接の上、人事異動に反映している。2～3年の希望やもっと長い将来に渡る希望を上司と話し合うことが行われている。 大磯町役場においても、いろいろな部署がある。福祉や消防など専門的な部署や総合的な部署に合わせた人事配置や教育研修が必要と思うが、令和4年度において、どのような取り組みが行われたのか。 2. 介護士・保育士・教師の処遇改善には国の基準に大きな問題があり、町だけでは解決は難しいとは考えるが、全国の先陣を切って進めるべきと考える。令和4年度においてどのような取り組みがなされたか。

2名6問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。